

# 世界物価連動国債ファンド

## 愛称:物価の優等生

### 運用報告書（全体版）（第20作成期）

第38期（決算日 2014年9月10日）

第39期（決算日 2014年12月10日）

◆当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	信託期間は原則無期限です。	
運用方針	安定した収益の確保と信託財産の着実な成長を目指して運用を行います。	
主要運用対象	世界物価連動国債ファンド	円建の外国投資信託である「グローバルインフレ連動国債ファンド」および親投資信託である「T&Dマネーブルマザーファンド」の受益証券を主要投資対象とします。
	グローバルインフレ連動国債ファンド	バークレイズ世界物価連動国債インデックス（除く日本）（円ベース、ヘッジなし）に採用されている国が発行する物価連動国債を主要投資対象とします。
	T & D マネーブルマザーファンド	わが国の公社債および短期金融商品等を主要投資対象とします。
組入制限	株式への投資は行いません。投資信託証券への投資割合には制限を設けません。	
分配方針	分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、必ず分配を行うものではありません。	

### お客様へ

毎々格別のお引立てにあずかり厚く御礼申し上げます。

さて、「世界物価連動国債ファンド」は、2014年9月10日に第38期決算を、2014年12月10日に第39期決算を行いましたので、期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後ともより一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

## T&Dアセットマネジメント株式会社

〒105-0022 東京都港区海岸 1-2-3

お問い合わせ先

投信営業部 03-3434-5544

（受付時間：営業日の午前9時～午後5時）

<http://www.tdasset.co.jp/>

## 最近5作成期中の運用実績、基準価額の推移等

### 最近5作成期の運用実績

作成期	決算期	基準価額			バークレイズ世界物価連動国債インデックス(除く日本) (円ベース、ヘッジなし) (参考指数)		グローバルインフレ連動国債ファンド組入比率	債組比	券入率	債先比	券物率	純資産総額
		(分配落)	税込み分配金	期中騰落率	(参考指数)	期中騰落率						
第16作成期	30期(2012年9月10日)	円	円	%	202.90	0.5	%		%	—	—	百万円
	31期(2012年12月10日)	7,870	30	0.2	218.58	7.7	93.9	2.4	—	—	4,326	
第17作成期	32期(2013年3月11日)	8,389	30	7.0	248.84	13.8	95.4	2.3	—	—	4,531	
	33期(2013年6月10日)	9,437	30	12.9	250.84	0.8	95.3	2.2	—	—	4,983	
第18作成期	34期(2013年9月10日)	9,449	30	0.4	245.23	△ 2.2	95.2	2.6	—	—	4,205	
	35期(2013年12月10日)	9,170	30	△ 2.6	261.91	6.8	95.7	2.8	—	—	3,986	
第19作成期	36期(2014年3月10日)	9,694	30	6.0	267.99	2.3	95.0	2.8	—	—	3,934	
	37期(2014年6月10日)	9,828	30	1.7	272.12	1.5	95.2	2.5	—	—	3,815	
第20作成期	38期(2014年9月10日)	9,917	30	1.2	281.19	3.3	94.8	2.5	—	—	3,828	
	39期(2014年12月10日)	10,138	30	2.5	318.49	13.3	94.7	2.4	—	—	3,932	
		11,332	30	12.1				0.6	—	—	4,273	

(注) 基準価額および分配金は1万円当たり。基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、債券組入比率および債券先物比率は実質比率を記載しております。

(注) 先物比率=買建比率-売建比率

(注) 当ファンドは、ベンチマークを設定しておりません。参考指数であるバークレイズ世界物価連動国債インデックス(除く日本)(円ベース、ヘッジなし)【出所:バークレイズ】は、基準価額への反映を考慮して前営業日の指数を採用しております。

### 当作成期中の基準価額と市況等の推移

年	月	日	基準価額		バークレイズ世界物価連動国債インデックス(除く日本) (円ベース、ヘッジなし) (参考指数)		グローバルインフレ連動国債ファンド組入比率	債組比	券入率	債先比	券物率
			騰落率	騰落率							
第38期		期首(第37期末) 2014年6月10日	円	%	272.12	—	%		%	—	—
		6月末	9,917	—	273.11	0.4	95.2	2.5	—	—	
		7月末	9,923	0.1	276.57	1.6	95.1	2.5	—	—	
		8月末	10,028	1.1	282.50	3.8	94.8	2.4	—	—	
		期末 2014年9月10日	10,220	3.1	281.19	3.3	94.8	2.4	—	—	
第39期		期首(第38期末) 2014年9月10日	円	%	281.19	—	%		%	—	—
		9月末	10,168	2.5	288.35	2.5	94.8	2.4	—	—	
		10月末	10,138	—	289.30	2.9	95.3	2.4	—	—	
		11月末	10,378	2.4	315.47	12.2	95.1	2.3	—	—	
		期末 2014年12月10日	11,253	11.0	318.49	13.3	93.6	1.0	—	—	
			11,362	12.1				0.6	—	—	

(注) 基準価額は1万円当たり。期末基準価額は分配金込み。騰落率は期首比。

(注) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、債券組入比率および債券先物比率は実質比率を記載しております。

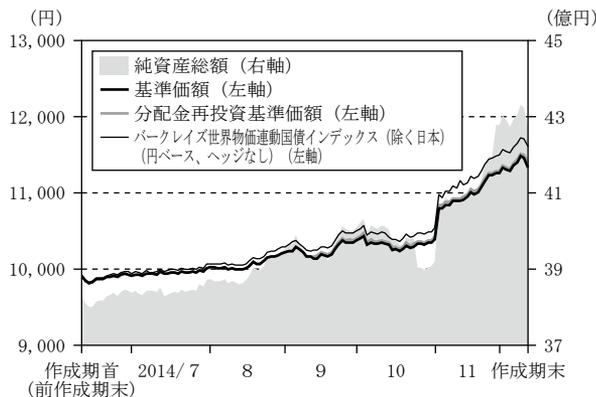
(注) 先物比率=買建比率-売建比率

(注) 当ファンドは、ベンチマークを設定しておりません。参考指数であるバークレイズ世界物価連動国債インデックス(除く日本)(円ベース、ヘッジなし)【出所:バークレイズ】は、基準価額への反映を考慮して前営業日の指数を採用しております。

\*バークレイズ世界物価連動国債インデックス(除く日本)(円ベース、ヘッジなし)は、バークレイズ・バンク・ビーエルシーおよび関連会社(バークレイズ)が開発、算出、公表をおこなうインデックスであり、世界の物価連動国債市場(除く日本)(円ベース、ヘッジなし)のパフォーマンスをあらわします。当該インデックスに関する知的財産権およびその他の権利はバークレイズに帰属します。なお、同指数の公表、採用国およびその基準等については今後予告なく中止、変更される可能性があります。

## 当作成期の運用状況と今後の運用方針

### ■ 基準価額等の推移



第38期首：9,917円

第39期末：11,332円（既払分配金60円）

騰落率：14.9%（分配金再投資ベース）

（注）分配金再投資基準価額および参考指数は、作成期首（2014年6月10日）の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

（注）分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

（注）分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。

### ■ 基準価額の主な変動要因

外国投資信託「グローバルインフレ連動国債ファンド」に投資した結果、名目金利の低下や主要投資対象通貨が円に対して上昇したことで、当ファンドの基準価額は上昇しました。

### ■ 投資環境

#### 【外国債券市況】

米国債券市場は上昇しました。中東地域における地政学リスクの高まりがリスク資産からの逃避需要を喚起し、8月下旬まで上昇方向へ推移しました。9月に入るとそれまでの上昇に対する行き過ぎ感や利上げ期待の回復から一時下落へと転じたものの、その後の国際情勢の悪化に加えて、世界的な景気減速懸念の広がりや米国でのエボラ出血熱患者の確認等を受けて急速に上昇しました。10月半ば以降は、良好な経済指標や利上げ期待の回復を受けて下落に転じましたが、原油安を受けたインフレ抑制期待の広がりから11月以降は上昇基調となりました。

ドイツ国債市場は上昇しました。中東における地政学リスクに対する警戒感に加えて、ECB（欧州中央銀行）による追加金融緩和観測の高まりから8月下旬まで上昇基調が継続しました。9月以降には、それまでの急速な上昇に対する修正から下落へ転じましたが、国際情勢の悪化を手掛かりに米国市場とともに上昇しました。作成期末にかけては、追加金融緩和観測の高まりやインフレ抑制期待の広がりによって上昇方向へ推移しました。

CPI（消費者物価指数）上昇率は、米国では2014年10月は前年比+1.7%となり低下しました。ユーロ圏と英国においても低下しました。

### ■ 組入ファンドの当作成期中の騰落率

組入ファンド	騰落率
グローバルインフレ連動国債ファンド	16.4%
T&Dマネープールマザーファンド	0.0

## 【為替動向】

ドル／円相場は円安ドル高となりました。作成期首はレンジ内で推移しましたが、半ば以降は良好な米GDP統計等や9月FOMC（米連邦公開市場委員会）での政策金利予想の上方修正等から米国における利上げ観測が高まる一方、黒田日銀総裁による追加金融緩和を示唆する発言等を受けて円安ドル高が進行しました。10月に入ると、世界的な景気減速懸念を背景に一時円高ドル安方向へ推移しましたが、その後FOMCにおいて量的金融緩和の終了が決定された一方で日銀が予想外の追加金融緩和に踏み切ると、一段と円安ドル高が進行する展開となりました。作成期末は1ドル＝118円台となりました。

ユーロ／円相場は円安ユーロ高となりました。作成期の半ばまでは方向感のない展開となりました。その後ECBによる予想外の追加金融緩和の実施や世界的な景気減速懸念から円高ユーロ安に振れる局面を挟みながら、10月末に日銀が予想外の追加金融緩和に踏み切ると急速に円安ユーロ高が進行しました。作成期末は1ユーロ＝147円台となりました。

## 【国内短期金融市場】

国庫短期証券3ヵ月物利回りは低下しました。6月以降、国債の大量償還やECBのマイナス金利導入により海外投資家からの需要が加わったことや、日銀によるマイナス金利での国庫短期証券の買入オペ等をきっかけとして需給がひっ迫し、10月中旬には利回りは $\Delta 0.07\%$ 程度まで低下しました。その後、日銀が国庫短期証券の買入オペ金額を減額したことなどを受け11月上旬には利回りは $0.01\%$ 程度まで反発しましたが、追加金融緩和を背景に利回りは再度低下に転じ、作成期末は $\Delta 0.006\%$ 程度となりました。

## ■ 当該投資信託のポートフォリオ

### 【当ファンド】

投資対象である「グローバルインフレ連動国債ファンド」の組入比率を87～96%程度、「T&Dマネープールマザーファンド」の組入比率を3%程度に維持する運用を行いました。

### 【グローバルインフレ連動国債ファンド】

主として日本を除く世界の物価連動国債を投資対象とし、バークレイズ世界物価連動国債インデックス（除く日本）（円ベース、ヘッジなし）に連動する投資成果を目指して、地域配分、信用格付別構成比、デュレーション（※）が、当該インデックスとほぼ同等となるようにポートフォリオを構築しました。

（※）デュレーションとは、市場金利の変動に対する債券価格の感応度（変化の割合）を示す指標です。

## <市場の変化>

### 各国物価連動国債インデックスの平均実質利回り

	物価連動国債インデックス			通常国債 <sup>※1</sup>
	第37期末 (2014/6/10)	第39期末 (2014/12/10)	変化幅	変化幅
アメリカ	0.48%	0.55%	0.07%	△0.48%
カナダ	0.72%	0.52%	△0.20%	△0.52%
イギリス	△0.10%	△0.74%	△0.64%	△0.81%
フランス	0.26%	△0.04%	△0.30%	△0.80%
ドイツ	△0.26%	△0.28%	△0.02%	△0.72%
スウェーデン	0.34%	△0.18%	△0.51%	△0.81%
デンマーク	0.15%	△0.26%	△0.41%	△0.80%
オーストラリア	1.36%	0.79%	△0.57%	△0.86%
ニュージーランド	2.60%	2.28%	△0.32%	△0.54%
平均 <sup>※2</sup>			△0.23%	△0.64%

※1. 各国の10年通常国債の名目利回り変化幅。

※2. 各国の利回り変化幅を、バークレイズ世界物価連動国債インデックス（除く日本）（円ベース、ヘッジなし）の期首（前期末）の国別構成比率で加重平均したもの。

※3. 為替レートはWMロイター社が発表するロンドン時間午後4時のレート。

（注）日付は現地基準。

（注）Bloombergより入手したデータを元に当社が計算したものです。

### 対円為替レート<sup>※3</sup>

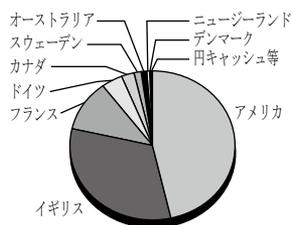
	第37期末 (2014/6/10)	第39期末 (2014/12/10)	変化率
アメリカドル	102.41円	118.79円	16.0%
カナダドル	93.81円	103.57円	10.4%
イギリスポンド	171.65円	186.42円	8.6%
ユーロ	138.72円	147.49円	6.3%
スウェーデンクローナ	15.29円	15.78円	3.2%
デンマーククローネ	18.59円	19.83円	6.6%
オーストラリアドル	95.87円	98.67円	2.9%
ニュージーランドドル	87.14円	91.75円	5.3%

## <「グローバルインフレ連動国債ファンド」の国別および通貨別組入比率>

2014年11月28日現在

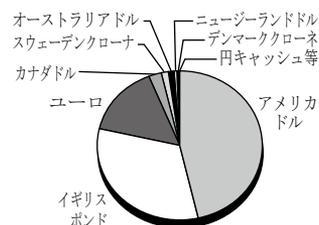
### 国別組入比率

国名	比率
アメリカ	46.5%
イギリス	32.1%
フランス	11.2%
ドイツ	4.0%
カナダ	2.6%
スウェーデン	1.4%
オーストラリア	1.2%
ニュージーランド	0.4%
デンマーク	0.3%
円キャッシュ等	0.2%



### 通貨別組入比率

通貨名	比率
アメリカドル	46.5%
イギリスポンド	32.1%
ユーロ	15.2%
カナダドル	2.6%
スウェーデンクローナ	1.4%
オーストラリアドル	1.2%
ニュージーランドドル	0.4%
デンマーククローネ	0.3%
円キャッシュ等	0.2%



（注）日付は現地基準。

（注）「グローバルインフレ連動国債ファンド」の管理会社であるBBH（ブラウン・ブラザーズ・ハリマン）より入手したデータを元に当社が計算したものです。

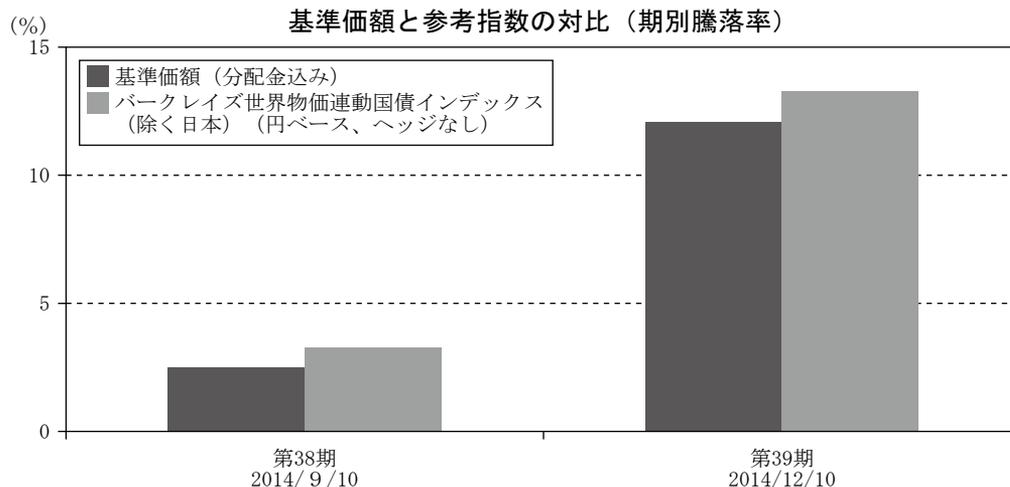
（注）比率は「グローバルインフレ連動国債ファンド」の純資産総額に対する比率です。

## 【T & Dマネープールマザーファンド】

国庫短期証券の組入比率は作成期を通じて、概ね85%程度の水準としましたが、作成期末にかけては国庫短期証券の利回りがマイナスになったことから組入れを見送り、22%程度となりました。残りの資産については、全額コールローン等で運用を行いました。

## ■ 当該投資信託のベンチマークとの差異

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率の対比です。



当ファンドの基準価額は作成期首9,917円からスタートし、作成期末は11,392円（第38期・第39期税引前分配金込み）となり、税引前分配金再投資ベースで14.9%上昇しました。一方、参考指数であるバークレイズ世界物価連動国債インデックス（除く日本）（円ベース、ヘッジなし）の収益率は、+17.0%となりました。基準価額が参考指数を2.1%下回ったのは、主として「グローバルインフレ連動国債ファンド」の組入比率を概ね87～96%程度に維持したことや、信託報酬等のコスト要因によるものです。

## ■ 分配金

1万口当たりの分配金（税込み）は安定的に分配を行う方針のもと、基準価額水準等を勘案し、第38期から第39期まで各30円とさせていただきます。収益分配に充てなかった利益は、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

## ■ 今後の運用方針

### 【世界物価連動国債ファンド】

「グローバルインフレ連動国債ファンド」の組入比率を高位に維持するとともに、「T&Dマネープールマザーファンド」の組入比率を3%程度に維持する運用を行います。

### 【グローバルインフレ連動国債ファンド】

米国経済は、家計の負債水準低下の進展や雇用環境の改善を背景に個人消費の回復が持続しており、今後は企業部門も設備投資を中心に改善傾向が強まると考えられることから、緩やかな回復基調が継続すると予想します。物価については、資源価格の低下等から、目先はFRB（米連邦準備制度理事会）が金融政策の正常化を急ぐほどにインフレ率が大きく上昇する可能性は低く、落ち着いた推移が予想されます。米国長期金利は、景気回復の継続とFRBによる出口戦略の議論進展を背景に緩やかな上昇が見込まれます。

ユーロ圏経済は、労働市場の改善が鈍く足許個人消費の回復ベースが停滞しています。また、地政学リス

クや景況感悪化による先行き懸念から企業部門の設備投資の大幅な拡大は見込み難いことから、低成長が持続することが予想されます。物価については、低インフレ率の長期化が懸念されます。ドイツ長期金利については、景気の下振れリスク、低インフレ率の長期化、これらを背景としたECBの緩和的な金融政策姿勢が低下要因となり、当面は1%前後を中心とした低水準での推移が続く見通しです。

主として日本を除く世界の物価連動国債を投資対象とし、バークレイズ世界物価連動国債インデックス(除く日本)(円ベース、ヘッジなし)に連動する投資成果を目指して運用を行います。

### 【T&Dマネープールマザーファンド】

国内景気は、輸出の伸び悩みなどを背景に景気回復ペースが鈍化しており、消費増税の影響を乗り越えて再び回復ペースを速めるにはかなりの時間を要するものと思われます。また、世界的な物価上昇率の低下もありインフレ期待も急速に盛り上がる可能性は小さいものと思われます。

短期金利については、日銀が大量の資金供給を続けていることから、余剰資金を抱えた投資家からの国庫短期証券への強いニーズも継続し、引続き低位安定の推移を予想します。相対的に金利リスクの高い長期債への投資は見送り、引続き短期国債を中心とした安定的な運用を行います。

### 1万口当たりの費用明細 (2014年6月11日から2014年12月10日まで)

#### 費用の明細

項目	第38期～第39期		項目の概要
	(2014/6/11～2014/12/10)		
	金額	比率	
平均基準価額	10,366円		作成期間の平均基準価額です。
(a) 信託報酬	51円	0.487%	(a) 信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率
(投信会社)	( 17)	(0.158)	委託した資金の運用の対価
(販売会社)	( 32)	(0.308)	運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受託会社)	( 2)	(0.022)	運用財産の保管および管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) その他費用	0	0.004	(b) その他費用＝作成期間のその他費用／作成期間の平均受益権口数
(監査費用)	( 0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合計	51	0.491	

(注) 作成期間の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 平均基準価額の円未満は切捨て、それ以外の各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各項目の費用は、当ファンドが組入れている投資信託証券(マザーファンドを除く。)が支払った費用を含みません。

(注) 「比率」欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

### 売買および取引の状況 (2014年6月11日から2014年12月10日まで)

#### (1) 投資信託証券

		第38期～第39期			
		買付		売却	
		口数	金額	口数	金額
外国 (邦貨建)	グローバルインフレ連動国債ファンド	千口	千円	千口	千円
		55.20172	609,999	68.91895	759,999

(注) 金額は受渡代金。単位未満は切捨て。ただし口数が単位未満の場合は小数で記載。

#### (2) 親投資信託受益証券の設定、解約状況

当作成期における設定、解約はありません。

利害関係人との取引状況等 (2014年6月11日から2014年12月10日まで)

当作成期における利害関係人との取引はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

組入資産の明細 (2014年12月10日現在)

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	前作成期末 (第37期末)	当 作 成 期 末 (第 39 期 末)		
	口 数	口 数	評 価 額	比 率
	千口	千口	千円	%
グローバルインフレ連動国債ファンド	347,50201	333,78478	4,046,486	94.7

(注) 比率は純資産総額に対する評価額の比率。

(注) 口数・評価額の単位未満は切捨て。ただし口数が単位未満の場合は小数で記載。

(2) 親投資信託残高

種 類	前 作 成 期 末 (第 37 期 末)	当 作 成 期 末 (第 39 期 末)	
	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千円
T & D マネープールマザーファンド	111,233	111,233	113,269

(注) T & D マネープールマザーファンド全体の受益権口数は1,739,469千口です。

(注) 単位未満は切捨て。

投資信託財産の構成 (2014年12月10日現在)

項 目	当 作 成 期 末 (第 39 期 末)	
	評 価 額	比 率
	千円	%
グローバルインフレ連動国債ファンド	4,046,486	94.0
T & D マネープールマザーファンド	113,269	2.6
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	145,222	3.4
投 資 信 託 財 産 総 額	4,304,977	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

## 資産、負債、元本および基準価額ならびに損益の状況

### 資産、負債、元本および基準価額の状況

2014年9月10日現在      2014年12月10日現在

項 目	第 38 期 末	第 39 期 末
(A) 資 産	3,961,822,461円	4,304,977,753円
コール・ローン等	119,704,952	145,221,301
グローバルインフレ連動 国債ファンド(評価額)	3,728,859,060	4,046,486,906
T & D マネーパウル マザーファンド(評価額)	113,258,384	113,269,507
未 収 利 息	65	39
(B) 負 債	28,935,402	31,294,094
未 払 収 益 分 配 金	11,637,914	11,314,437
未 払 解 約 金	7,732,220	10,073,642
未 払 信 託 報 酬	9,481,024	9,818,768
そ の 他 未 払 費 用	84,244	87,247
(C) 純資産総額(A-B)	3,932,887,059	4,273,683,659
元 本	3,879,304,917	3,771,479,306
次 期 繰 越 損 益 金	53,582,142	502,204,353
(D) 受 益 権 総 口 数	3,879,304,917口	3,771,479,306口
1 万 口 当 た り 基 準 価 額 (C/D)	10,138円	11,332円

- (注) 期首元本額      3,860,648,991円      3,879,304,917円  
 期中追加設定元本額      143,663,469円      217,174,505円  
 期中一部解約元本額      125,007,543円      325,000,116円  
 (注) 1口当たり純資産額は、第38期1.0138円、第39期1.1332円です。

### 損益の状況

第38期      自2014年6月11日      至2014年9月10日  
 第39期      自2014年9月11日      至2014年12月10日

項 目	第 38 期	第 39 期
(A) 配 当 等 収 益	13,822,419円	13,204,558円
受 取 配 当 金	13,816,933	13,200,438
受 取 利 息	5,486	4,120
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	91,284,021	443,508,876
売 買 益	92,648,877	457,028,510
売 買 損	△ 1,364,856	△ 13,519,634
(C) 信 託 報 酬 等	△ 9,565,268	△ 9,906,015
(D) 当 期 損 益 金 (A+B+C)	95,541,172	446,807,419
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	107,574,903	176,233,215
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	△ 137,896,019	△ 109,521,844
(配 当 等 相 当 額)	( 143,535,071)	( 151,722,350)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△ 281,431,090)	(△ 261,244,194)
(G) 合 計 (D+E+F)	65,220,056	513,518,790
(H) 収 益 分 配 金	△ 11,637,914	△ 11,314,437
次 期 繰 越 損 益 金 (G+H)	53,582,142	502,204,353
追 加 信 託 差 損 益 金	△ 137,896,019	△ 109,521,844
(配 当 等 相 当 額)	( 143,535,071)	( 151,722,350)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△ 281,431,090)	(△ 261,244,194)
分 配 準 備 積 立 金	220,649,458	611,726,197
繰 越 損 益 金	△ 29,171,297	—

- (注) 損益の状況の中で  
 (B)有価証券売買損益は、各期末の評価換えによるものを含みます。  
 (C)信託報酬等には、信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。  
 (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差引いた差額分をいいます。

### 分配金の計算過程

#### [第38期]

計算期間末における費用控除後の配当等収益 (12,564,586円)、費用控除後の有価証券売買等損益 (0円)、収益調整金 (143,535,071円) および分配準備積立金 (219,722,786円) より、分配対象収益は375,822,443円 (1万口当たり968円) であり、うち11,637,914円 (1万口当たり30円) を分配金額としております。

#### [第39期]

計算期間末における費用控除後の配当等収益 (12,918,274円)、費用控除後の有価証券売買等損益 (407,103,189円)、収益調整金 (151,722,350円) および分配準備積立金 (203,019,171円) より、分配対象収益は774,762,984円 (1万口当たり2,054円) であり、うち11,314,437円 (1万口当たり30円) を分配金額としております。

## 分配金のご案内

### 分配金および分配原資の内訳

(単位：円・%、1万口当たり・税引前)

項目	第38期	第39期
	2014年6月11日 ～2014年9月10日	2014年9月11日 ～2014年12月10日
当期分配金	30	30
（対基準価額比率）	0.295	0.264
当期の収益	30	30
当期の収益以外	—	—
翌期繰越分配対象額	938	2,024

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

※分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合、分配金は全額普通分配金となります。

※分配前の基準価額が個別元本を上回り、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合、分配金は個別元本を上回る部分が普通分配金、下回る部分が元本払戻金（特別分配金）となります。

※分配前の基準価額が個別元本と同額または下回る場合、分配金は全額元本払戻金（特別分配金）となります。

※元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、個別元本から元本払戻金（特別分配金）を控除した額がその後の新たな個別元本となります。

### 《お知らせ》

平成26年12月1日適用で、委託会社が投資者に対して交付する運用報告書（全体版）について、電子媒体による提供を可能とするよう、約款変更を行いました。

<ご参考>

---

---

組入投資信託証券の内容

---

---

以下の記載は、「グローバルインフレ連動国債ファンド」の管理会社であるBBH（ブラウン・ブラザーズ・ハリマン）から入手した情報を、当社が一部和訳したものです。当社は、その内容の正確性・完全性を保証するものではありません。なお、損益計算書および組入資産の明細は監査未了のものです。監査済報告書については監査終了後、その書類を入手する予定です。

「世界物価連動国債ファンド」が投資対象とする外国投資信託証券  
「グローバルインフレ連動国債ファンド」の概要

(1) 損益計算書 (2013年12月1日～2014年11月30日)

	(円)
<b>収益</b>	
受取利息およびその他収益	70,186,007
投資および外国為替取引に係る実現損益	502,877,689
投資および外国為替取引に係る未実現損益の増減	341,172,324
<b>収益合計</b>	<u>914,236,020</u>
<b>費用</b>	
保管報酬	16,177,965
運用報酬	10,374,712
監査報酬	4,589,160
信託報酬	2,329,185
その他費用	106
<b>費用合計</b>	<u>33,471,128</u>
<b>包括利益合計</b>	<u>880,764,892</u>

(注) 日付は現地基準。

## (2) 組入資産の明細 (2014年11月30日現在)

銘柄名	額面	評価額
<b>オーストラリア</b>	(オーストラリア・ドル)	(円)
Australia Government Bond, 1.00% due 11/21/18	75,000	7,901,672
Australia Government Bond, 1.25% due 02/21/22	76,000	8,538,694
Australia Government Bond, 2.00% due 08/21/35	49,000	5,936,000
Australia Government Bond, 2.50% due 09/20/30	63,000	8,675,608
Australia Government Bond, 3.00% due 09/20/25	110,000	15,675,272
Australia Government Bond, 4.00% due 08/20/20	92,000	17,821,642
<b>オーストラリア計</b>		<b>64,548,888</b>
<b>カナダ</b>	(カナダ・ドル)	(円)
Canadian Government Bond, 1.25% due 12/01/47	32,652	4,026,381
Canadian Government Bond, 1.50% due 12/01/44	174,118	22,459,280
Canadian Government Bond, 2.00% due 12/01/41	143,651	20,143,567
Canadian Government Bond, 3.00% due 12/01/36	145,354	22,881,415
Canadian Government Bond, 4.00% due 12/01/31	143,170	23,595,326
Canadian Government Bond, 4.25% due 12/01/21	149,912	20,289,669
Canadian Government Bond, 4.25% due 12/01/26	148,968	22,721,375
<b>カナダ計</b>		<b>136,117,013</b>
<b>デンマーク</b>	(デンマーク・クローネ)	(円)
Denmark I/L Government Bond, 0.10% due 11/15/23	684,671	14,100,141
<b>デンマーク計</b>		<b>14,100,141</b>
<b>フランス</b>	(ユーロ)	(円)
France Government Bond O.A.T., 0.10% due 07/25/21	77,700	11,952,783
France Government Bond O.A.T., 0.25% due 07/25/18	133,322	20,252,748
France Government Bond O.A.T., 0.25% due 07/25/24	164,820	25,521,803
France Government Bond O.A.T., 0.70% due 07/25/30	70,304	11,226,106
France Government Bond O.A.T., 1.00% due 07/25/17	460,822	71,003,947
France Government Bond O.A.T., 1.10% due 07/25/22	378,085	62,402,843
France Government Bond O.A.T., 1.30% due 07/25/19	229,087	36,837,491
France Government Bond O.A.T., 1.80% due 07/25/40	202,567	40,546,152
France Government Bond O.A.T., 1.85% due 07/25/27	185,222	33,868,850
France Government Bond O.A.T., 2.10% due 07/25/23	265,624	47,846,122
France Government Bond O.A.T., 2.25% due 07/25/20	497,411	85,225,347
France Government Bond O.A.T., 3.15% due 07/25/32	234,035	52,311,335
France Government Bond O.A.T., 3.40% due 07/25/29	202,709	45,201,407
French Treasury Note BTAN, 0.45% due 07/25/16	261,184	39,263,837
<b>フランス計</b>		<b>583,460,771</b>
<b>ドイツ</b>	(ユーロ)	(円)
Bundesobligation, 0.75% due 04/15/18	320,384	49,033,854
Deutsche Bundesrepublik Inflation Linked Bond, 0.50% due 04/15/30	58,697	9,547,843
Deutschland Inflation Linked Bond, 0.10% due 04/15/23	304,890	47,303,475
Deutschland Inflation Linked Bond, 1.50% due 04/15/16	325,926	48,866,331
Deutschland Inflation Linked Bond, 1.75% due 04/15/20	323,680	53,786,174
<b>ドイツ計</b>		<b>208,537,677</b>

銘柄名	額面	評価額
<b>ニュージーランド</b>	(ニュージーランド・ドル)	(円)
New Zealand Government Bond, 2.00% due 09/20/25	112,000	10,563,967
New Zealand Government Bond, 3.00% due 09/20/30	76,000	7,795,760
New Zealand Government Bond, 4.50% due 02/15/16	23,000	3,325,136
<b>ニュージーランド計</b>		<b>21,684,863</b>
<b>スウェーデン</b>	(スウェーデン・クローナ)	(円)
Sweden Inflation Linked Bond, 0.25% due 06/01/22	610,000	10,325,928
Sweden Inflation Linked Bond, 0.50% due 06/01/17	810,000	13,726,721
Sweden Inflation Linked Bond, 1.00% due 06/01/25	190,000	3,433,171
Sweden Inflation Linked Bond, 3.50% due 12/01/15	380,000	7,675,093
Sweden Inflation Linked Bond, 3.50% due 12/01/28	855,000	25,301,762
Sweden Inflation Linked Bond, 4.00% due 12/01/20	570,000	14,837,028
<b>スウェーデン計</b>		<b>75,299,703</b>
<b>イギリス</b>	(イギリス・ポンド)	(円)
U.K. Gilt Inflation Linked, 0.13% due 11/22/19	179,429	35,731,005
U.K. Gilt Inflation Linked, 0.13% due 03/22/24	222,088	45,154,737
U.K. Gilt Inflation Linked, 0.13% due 03/22/29	284,813	59,437,822
U.K. Gilt Inflation Linked, 0.13% due 03/22/44	272,028	62,387,167
U.K. Gilt Inflation Linked, 0.13% due 03/22/58	57,381	14,420,518
U.K. Gilt Inflation Linked, 0.13% due 03/22/68	202,201	54,360,832
U.K. Gilt Inflation Linked, 0.25% due 03/22/52	235,197	59,024,373
U.K. Gilt Inflation Linked, 0.38% due 03/22/62	273,408	77,816,634
U.K. Gilt Inflation Linked, 0.63% due 03/22/40	287,910	71,905,189
U.K. Gilt Inflation Linked, 0.75% due 03/22/34	291,733	69,861,409
U.K. Gilt Inflation Linked, 0.75% due 11/22/47	290,125	81,005,440
U.K. Gilt Inflation Linked, 1.25% due 11/22/32	281,170	72,014,367
U.K. Treasury Stock, 0.50% due 03/22/50	281,259	75,037,912
U.K. Treasury Stock, 0.63% due 11/22/42	270,374	69,842,352
U.K. Treasury Stock, 1.13% due 11/22/37	285,313	76,432,454
U.K. Treasury Stock, 1.25% due 11/22/17	325,781	65,662,471
U.K. Treasury Stock, 1.25% due 11/22/27	382,285	90,771,622
U.K. Treasury Stock, 1.25% due 11/22/55	278,776	96,676,774
U.K. Treasury Stock, 1.88% due 11/22/22	400,819	92,497,853
U.K. Treasury Stock, 2.00% due 01/26/35	184,000	78,672,439
U.K. Treasury Stock, 2.50% due 07/26/16	149,000	91,789,419
U.K. Treasury Stock, 2.50% due 04/16/20	117,000	80,089,802
U.K. Treasury Stock, 2.50% due 07/17/24	135,000	87,126,936
U.K. Treasury Stock, 4.13% due 07/22/30	96,460	60,762,142
<b>イギリス計</b>		<b>1,668,481,669</b>
<b>アメリカ</b>	(アメリカ・ドル)	(円)
U.S. Treasury Inflation Indexed Bonds, 0.13% due 04/15/19	613,567	73,162,626
U.S. Treasury Inflation Indexed Bonds, 0.63% due 02/15/43	474,177	51,902,958
U.S. Treasury Inflation Indexed Bonds, 0.75% due 02/15/42	430,849	48,814,204

銘柄名	額面	評価額
アメリカ (続き)	(アメリカ・ドル)	(円)
U.S. Treasury Inflation Indexed Bonds, 1.38% due 02/15/44	457,556	60,363,389
U.S. Treasury Inflation Indexed Bonds, 1.75% due 01/15/28	359,042	48,558,768
U.S. Treasury Inflation Indexed Bonds, 2.00% due 01/15/26	488,111	67,069,218
U.S. Treasury Inflation Indexed Bonds, 2.13% due 02/15/40	332,587	50,537,800
U.S. Treasury Inflation Indexed Bonds, 2.13% due 02/15/41	517,166	79,098,496
U.S. Treasury Inflation Indexed Bonds, 2.38% due 01/15/25	702,111	98,928,461
U.S. Treasury Inflation Indexed Bonds, 2.38% due 01/15/27	389,509	55,803,277
U.S. Treasury Inflation Indexed Bonds, 2.50% due 01/15/29	246,679	36,530,040
U.S. Treasury Inflation Indexed Bonds, 3.38% due 04/15/32	129,811	21,923,095
U.S. Treasury Inflation Indexed Bonds, 3.63% due 04/15/28	488,601	80,243,134
U.S. Treasury Inflation Indexed Bonds, 3.88% due 04/15/29	559,629	95,623,421
U.S. Treasury Inflation Indexed Notes, 0.13% due 04/15/16	801,236	95,718,745
U.S. Treasury Inflation Indexed Notes, 0.13% due 04/15/17	855,160	102,771,244
U.S. Treasury Inflation Indexed Notes, 0.13% due 04/15/18	1,023,542	122,703,308
U.S. Treasury Inflation Indexed Notes, 0.13% due 01/15/22	885,515	103,882,159
U.S. Treasury Inflation Indexed Notes, 0.13% due 07/15/22	859,116	100,912,773
U.S. Treasury Inflation Indexed Notes, 0.13% due 01/15/23	867,264	100,945,013
U.S. Treasury Inflation Indexed Notes, 0.13% due 07/15/24	451,107	52,142,570
U.S. Treasury Inflation Indexed Notes, 0.38% due 07/15/23	752,803	89,569,775
U.S. Treasury Inflation Indexed Notes, 0.63% due 07/15/21	593,534	72,534,888
U.S. Treasury Inflation Indexed Notes, 0.63% due 01/15/24	844,676	101,996,921
U.S. Treasury Inflation Indexed Notes, 1.13% due 01/15/21	756,250	94,874,421
U.S. Treasury Inflation Indexed Notes, 1.25% due 07/15/20	719,272	91,175,768
U.S. Treasury Inflation Indexed Notes, 1.38% due 07/15/18	285,895	36,073,314
U.S. Treasury Inflation Indexed Notes, 1.38% due 01/15/20	424,886	53,835,344
U.S. Treasury Inflation Indexed Notes, 1.63% due 01/15/18	376,086	47,369,645
U.S. Treasury Inflation Indexed Notes, 1.88% due 07/15/19	348,932	45,221,094
U.S. Treasury Inflation Indexed Notes, 2.00% due 01/15/16	333,403	40,642,589
U.S. Treasury Inflation Indexed Notes, 2.13% due 01/15/19	328,166	42,557,224
U.S. Treasury Inflation Indexed Notes, 2.38% due 01/15/17	410,755	51,820,204
U.S. Treasury Inflation Indexed Notes, 2.50% due 07/15/16	500,926	62,689,795
U.S. Treasury Inflation Indexed Notes, 2.63% due 07/15/17	338,805	43,663,495
アメリカ計		2,421,659,176
合計		5,193,889,901

(注) 日付は現地基準。

(注) 小数点以下は四捨五入しています。

## T & D マネープールマザーファンド

運用報告書（全体版） 第20期（決算日 2014年12月10日）  
（計算期間 2014年6月11日から2014年12月10日）

「T & D マネープールマザーファンド」は、2014年12月10日に第20期決算を行いましたので、期中の運用状況をご報告申し上げます。

◆当ファンドの仕組みは次の通りです。

信託期間	信託期間は原則無期限です。
運用方針	安定した収益の確保を目指して運用を行います。
主要運用対象	わが国の公社債および短期金融商品等を主要投資対象とします。
組入制限	株式への投資は行いません。外貨建資産への投資は行いません。

### 最近5期の運用実績、基準価額の推移等

#### 最近5期の運用実績

決算期	基準価額		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	純資産総額
	円	騰落率			
16期（2012年12月10日）	10,171	0.0	80.2	—	1,583
17期（2013年6月10日）	10,175	0.0	84.4	—	1,858
18期（2013年12月10日）	10,179	0.0	85.3	—	1,793
19期（2014年6月10日）	10,181	0.0	85.3	—	1,771
20期（2014年12月10日）	10,183	0.0	22.0	—	1,771

(注) 基準価額は1万円当たり。

(注) 先物比率＝買建比率－売建比率

(注) 当ファンドは安定した収益の確保を目指すファンドであり、ベンチマークおよび参考指数はありません。

## 当期中の基準価額等の推移

年 月 日	基 準 価 額 騰 落 率	債券組入比率	債券先物比率
期首 (前期末) 2014年 6 月10日	円 %	%	%
6 月末	10,181	—	85.3
7 月末	10,182	0.0	85.2
8 月末	10,182	0.0	85.3
9 月末	10,182	0.0	84.7
10 月末	10,182	0.0	84.7
11 月末	10,183	0.0	37.8
期 末 2014年12月10日	10,183	0.0	22.0

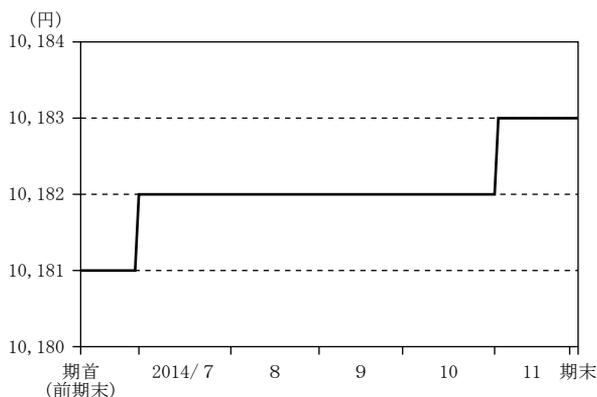
(注) 基準価額は1万円当たり。騰落率は期首比。

(注) 先物比率=買建比率-売建比率

(注) 当ファンドは安定した収益の確保を目指すファンドであり、ベンチマークおよび参考指数はありません。

## 当期の運用状況と今後の運用方針

### ■ 基準価額の推移



### ■ 基準価額の変動要因

当ファンドの基準価額は、運用対象である国庫短期証券やコールローンの利回りが超低位で推移したため小幅な上昇になりました。

### ■ 投資環境

#### 【国内短期金融市場】

国庫短期証券3ヵ月物利回りは低下しました。6月以降、国債の大量償還やECB（欧州中央銀行）のマイナス金利導入により海外投資家からの需要が加わったことや、日銀によるマイナス金利での国庫短期証券

の買入オペ等をきっかけとして需給がひっ迫し、10月中旬には利回りは $\Delta 0.07\%$ 程度まで低下しました。その後、日銀が国庫短期証券の買入オペ金額を減額したことなどを受け11月上旬には利回りは $0.01\%$ 程度まで反発しましたが、追加金融緩和を背景に利回りは再度低下に転じ、期末は $\Delta 0.006\%$ 程度となりました。

## ■ 当該投資信託のポートフォリオ

国庫短期証券の組入比率は期を通じて、概ね85%程度の水準としましたが、期末にかけては国庫短期証券の利回りがマイナスになったことから組入れを見送り、22%程度となりました。残りの資産については、全額コールローン等で運用を行いました。

## ■ 当該投資信託のベンチマークとの差異

当ファンドはベンチマークおよび参考指数がないため、本項目は記載しておりません。

## ■ 今後の運用方針

国内景気は、輸出の伸び悩みなどを背景に景気回復ペースが鈍化しており、消費増税の影響を乗り越えて再び回復ペースを速めるにはかなりの時間を要するものと思われます。また、世界的な物価上昇率の低下もありインフレ期待も急速に盛り上がる可能性は小さいものと思われます。

短期金利については、日銀が大量の資金供給を続けていることから、余剰資金を抱えた投資家からの国庫短期証券への強いニーズも継続し、引続き低位安定の推移を予想します。相対的に金利リスクの高い長期債への投資は見送り、引続き短期国債を中心とした安定的な運用を行います。

1万口当たりの費用明細 (2014年6月11日から2014年12月10日まで)

当期において発生した費用はありません。

売買および取引の状況 (2014年6月11日から2014年12月10日まで)

公社債

		買 付 額	売 付 額
		千円	千円
国 内	国 債 証 券	2,169,893	— (3,290,000)

(注) 金額は受渡代金(経過利子分は含まれておりません)。単位未満は切捨て。

(注) ( ) 内は償還による減少分です。

当期中の主要な売買銘柄 (2014年6月11日から2014年12月10日まで)

公社債(上位10銘柄)

買	付	売	付
銘	柄	銘	柄
		金 額	金 額
		千円	千円
第475回	国庫短期証券	449,966	—
第473回	国庫短期証券	379,977	—
第490回	国庫短期証券	259,996	—
第476回	国庫短期証券	249,999	—
第459回	国庫短期証券	249,982	—
第469回	国庫短期証券	189,988	—
第482回	国庫短期証券	129,999	—
第462回	国庫短期証券	129,991	—
第468回	国庫短期証券	99,992	—
第486回	国庫短期証券	29,999	—

(注) 金額は受渡代金(経過利子分は含まれておりません)。単位未満は切捨て。

**利害関係人との取引状況等** (2014年6月11日から2014年12月10日まで)

当期における利害関係人との取引はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

**組入資産の明細** (2014年12月10日現在)

下記は、T&Dマネープールマザーファンド全体(1,739,469千円)の内容です。

**公社債**

**(A) 国内(邦貨建)公社債<種類別>**

区 分	当 期				末		
	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	うちBB格 以下組入比率	残存期間別組入比率		
					5年以上	2年以上	2年未満
	千円	千円	%	%	%	%	%
国 債 証 券	390,000 (390,000)	389,997 (389,997)	22.0 (22.0)	— (—)	— (—)	— (—)	22.0 (22.0)

(注) ( ) 内は非上場債で内書きです。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(注) 残存期間が1年以内の公社債は原則として償却原価法により評価しています。

(注) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

**(B) 国内(邦貨建)公社債<銘柄別>**

区 分	当 期			末		
	銘 柄	利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日	
国 債 証 券		%	千円	千円		
	第482回国庫短期証券	—	130,000	129,999	2015/1/8	
	第490回国庫短期証券	—	260,000	259,997	2015/2/9	
合 計	銘 柄 数 金 額	2 銘柄	390,000	389,997		

(注) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

**投資信託財産の構成** (2014年12月10日現在)

項 目	当 期	
	評 価 額	比 率
公 社 債	千円 389,997	% 22.0
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	1,381,241	78.0
投 資 信 託 財 産 総 額	1,771,238	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

## 資産、負債、元本および基準価額ならびに損益の状況

### 資産、負債、元本および基準価額の状況

2014年12月10日現在

項 目	当 期 末
(A) 資 産	1,771,238,970円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	1,381,241,164
公 社 債(評価額)	389,997,428
未 収 利 息	378
(B) 純 資 産 総 額(A)	1,771,238,970
元 本	1,739,469,494
次 期 繰 越 損 益 金	31,769,476
(C) 受 益 権 総 口 数	1,739,469,494口
1 万 口 当 た り 基 準 価 額(B/C)	10,183円

(注) 期首元本額 1,739,477,248円  
 期中追加設定元本額 1,046,067円  
 期中一部解約元本額 1,053,821円

(注) 1口当たり純資産額は1.0183円です。

(注) 当マザーファンドを投資対象とする投資信託の当期末元本の内訳

世界物価連動国債ファンド	111,233,927円
T&Dインド中小型株ファンド	19,925,634円
米国リート・プレミアムファンド(毎月分配型)円ヘッジ・コース	19,686,748円
米国リート・プレミアムファンド(毎月分配型)通貨プレミアム・コース	162,257,843円
米国リート・プレミアムファンド(年2回決算型)マネーボール・コース	78,655円
豪州高配当株ツインαファンド(毎月分配型)	4,916,905円
野村エマージング債券投信(円コース)毎月分配型	88,894,868円
野村エマージング債券投信(円コース)年2回決算型	10,388,902円
野村エマージング債券投信(米ドルコース)毎月分配型	3,938,752円
野村エマージング債券投信(米ドルコース)年2回決算型	1,296,661円
野村エマージング債券投信(豪ドルコース)毎月分配型	72,378,562円
野村エマージング債券投信(豪ドルコース)年2回決算型	5,091,243円
野村エマージング債券投信(ブラジルリアルコース)毎月分配型	743,452,592円
野村エマージング債券投信(ブラジルリアルコース)年2回決算型	21,323,095円
野村エマージング債券投信(南アフリカランドコース)毎月分配型	4,555,789円
野村エマージング債券投信(南アフリカランドコース)年2回決算型	269,211円
野村エマージング債券投信(カナダドルコース)毎月分配型	9,976,710円
野村エマージング債券投信(カナダドルコース)年2回決算型	1,310,211円
野村エマージング債券投信(メキシコペソコース)毎月分配型	200,165,843円
野村エマージング債券投信(メキシコペソコース)年2回決算型	36,421,805円
野村エマージング債券投信(トルコリラコース)毎月分配型	182,506,222円
野村エマージング債券投信(トルコリラコース)年2回決算型	11,406,975円
野村エマージング債券投信(金コース)毎月分配型	20,422,125円
野村エマージング債券投信(金コース)年2回決算型	4,365,016円
野村エマージング債券投信(マネーボールファンド)年2回決算型	3,205,200円

### 損益の状況

当期 自2014年6月11日 至2014年12月10日

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	230,443円
受 取 利 息	230,443
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	813
売 買 益	813
(C) 当 期 損 益 金(A+B)	231,256
(D) 前 期 繰 越 損 益 金	31,538,466
(E) 追 加 信 託 差 損 益 金	18,933
(F) 解 約 差 損 益 金	△ 19,179
(G) 合 計(C+D+E+F)	31,769,476
次 期 繰 越 損 益 金(G)	31,769,476

(注) 損益の状況の中で

(B)有価証券売買損益は、期末の評価換えによるものを含みます。

(E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差引いた差額分をいいます。

(F)解約差損益金とあるのは、一部解約の際、元本から解約価額を差引いた差額分をいいます。

### 《お知らせ》

平成26年12月1日適用で、投資信託に関する法令等の改正に伴い、約款変更を行いました。